学校番号	３０５

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・古典や古筆の名品を鑑賞し、楷書・隷書・行書から平安朝の仮名に至るまで様々な書体を臨書し、多様な美を味わうことを目標とします。また、古典の美を基本とした創作を経験し、自分の書表現の幅を広げることをめざします。
・古典の臨書や鑑賞を通して書写能力の向上をめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道（書体の変遷）	・国語科書写と芸術科書道の違いを理解する。 ・漢字の書体の変遷について理解する。 ・さまざまな書体を知る。	○			○	a：書写と書道の類似点・相違点について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 d：漢字の書体の変遷を、歴史的背景と合わせて理解しようとしている。 d：５つの書体に特有の字形や線質の特徴を、的確にとらえようとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
4 5	隷書の学習	・「曹全碑」の鑑賞・臨書を通して、隷書の字形や点画、線質の特徴、用筆・運筆の技法を理解する。	○	○	○		a：隷書の成立過程や点画や用筆の特徴について理解している。 b：隷書（八分）の字形や線質，用筆の特徴を理解している。 c：「曹全碑」を鑑賞・臨書し、特徴を理解し、八分特有の扁平な字形、蔵鋒などの用筆、波磔などを表現するための技能を身に付け表している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
5	篆刻 姓名印づくり	・自分の名前の漢字調べ（各書体） ・名前の１文字白文印の制作	○	○	○		a：名前の漢字の各書体を調べて、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：篆刻における分間布白を理解し、印稿の表現を工夫している。 c：運刀に関する知識や技法を理解し、効果的な表現の技能を身に付けている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
6 7	楷書の基本	・唐の四大家の楷書の学習を通して楷書の特徴を理解する。 用筆の違いによる書風の違いを理解する。 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」の鑑賞・臨書を通して楷書の用筆・運筆の技法を習得する。	○	○	○	○	a：唐の四大家の代表作を知り、人物像や歴史的背景について理解しようとしている。 a：書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。 b：それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c：臨書を通して、それぞれの古典の字形や線質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技能を身に付けている。 d：同じ時代の楷書にも、さまざまな書風があることを理解する。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

8	夏休み課題	・生活の中の書を探し、その効用を検証する。	○			○	a:生活の中の書を見つけ、その効果や役割を理解しようとしている。 d:様々な場面で書に触れる機会があることを認識し、自分の好みや書体や書風によって、見た者に違う印象を与えることを理解する。	レポート
9 10	行書の基本	・楷書と比較して行書の主な特徴を理解する。 ・「蘭亭序」「蜀素帖」の鑑賞・臨書を通して行書の用筆・運筆の技法を習得する。	○	○	○	○	a:行書を楷書と比較し、字形や用筆の特徴、特に点画の丸み、連続・省略などについて理解している。 a:書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。 b:それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c:臨書を通して、それぞれの古典の字形や線質、点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技能を身に付けている。 d: 王羲之と米芾について、基礎的な知識を身に付けており、書道史における二人の関係性について理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11 12	漢字仮名交じりの書	・生活の中の書「カレンダー作品」自分の言葉を書で表現する。	○	○	○	○	a:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 d:自分の作品について、創作意図や感想を文章でまとめている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
1	漢字の創作学習	・八つ切り4文字創作作品 ・古典の学習を通して学んだことを生かし、自ら選んだ語句や文字を創作する。	○	○	○	○	a:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:書体の特徴を理解し、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 d:自分の作品について、創作意図や感想を文章でまとめている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

2 3	仮名の学習	・仮名の成立や仮名文字の推移について理解する。 ・いろはの単体 ・連綿 ・「高野切第三種」 仮名の単体から連綿まで練習し、特徴を理解し表現する。 古筆の特徴をとらえ、流麗な平安朝の仮名の美を理解する。	○	○	○	○	a:漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解している。 b:仮名の単体から連綿まで、仮名独特の線質や流れを理解し、それを表現するための用筆や運筆を理解している。 c: 「高野切第三種」の書風や特徴を理解し、それを表現するための用筆や運筆の技能を身に付けて表現している。 d: 「高野切第三種」の特徴をとらえ、流麗な平安朝の仮名の美を理解し味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。